

各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<23年度の取組み>

◆急性期・総合医療センター

□救急搬送支援システムの開発・運用の主導など、救命救急医療の機能強化

□精神科救急医療体制における身体合併症患者の受入れ拡大

(精神科救急・合併症入院料算定患者数 23年度 328人 22年度 155人)

□がんの診療拠点として化学療法の拡充など、がん治療患者数の拡大

(がん治療患者数 23年度 8,850人 22年度 7,055人)

◆呼吸器・アレルギー医療センター

□地域の医療機関と連携した専門医、認定看護師等による緩和ケア医療の推進

□感染症法に基づく結核入院勧告患者受入れ(23年度 379人 22年度 377人)

□食物チャレンジテストの積極的な実施

(食物チャレンジテスト実施件数 23年度 1,015件 22年度 741件)

◆精神医療センター

□思春期外来の拡充

(思春期外来延べ患者数 23年度 4,486人 22年度 3,067人)

□自閉症確定診断待機患児の解消

(自閉症確定診断待機患児数 23年度末現在 134人 22年度末現在 204人)

□治療中断者や未受診者等、早期の段階から医師等が医療面での支援を行うアウトリーチの開始

◆成人病センター

□難治性・進行性・希少がん患者への最適な集学的治療の実施と放射線治療におけるIMRTへの重点化

難治性がん手術 23年度 809件 22年度 809件

放射線治療(IMRT) 23年度 4,853件 22年度 3,241件

*IMRT(強度変調放射線治療):放射線に強弱をつけ、腫瘍の形状にあわせて放射線を集中照射することで、周囲の正常組織への照射を減らすことができる治療方法

□低侵襲治療の推進

(ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術) 23年度 538件 22年度 510件)

□個別化医療の推進

(抗がん剤感受性試験実施件数 23年度 142件 22年度 123件)

◆母子保健総合医療センター

□高度専門医療として開心術(3歳未満)など手術件数を拡大

(23年度 3,915件 22年度 3,732件)

□母体緊急搬送患者の受入れ(23年度 144件 22年度 141件)

□入院している子どもの在宅療養への移行を支援

(在宅療養指導管理料算定実患者数 23年度 840人 22年度 833人)